壺川小学校　学校便り　№１７　　2020年12月９日（水）

命と笑顔が輝く壺川小

文責　校長　藤米田成二

１２月に入りました。師走です。この言葉を聞くだけで、何か慌ただしく感じ、ソワソワしてしまいます。今年は新型コロナウイルスに振り回された１年でした。今、学校では２学期のまとめをしながら、２０２０年の締めくくりをしているところです。２０２０年も残り少なくなりましたが、子どもたちの体調に十分配慮しながら、計画的に進めていきたいと思います。

学級懇談会、ありがとうございました。

１２月４日（金）、保護者の皆様にはご多用の中、２学期最後の学級懇談会にご出席いただきありがとうございました。２学期の子どもたちの様子や冬休みのくらし、通知表や一人一台タブレットについて等たくさんの内容だったかと思います。今年は１学期に通知表を出しておりませんので、今年度初めての通知表となります。担任も日頃から子どもたちにしっかりと寄り添いながら、成長を見つめていますので、通知表をとおして学校での様子をお伝えできればと思います。

また、今年度熊本市では一人一台タブレットを貸与することとなりました。６年間そのタブレットを使うことになりますので、大切に使っていけるよう準備をしているところです。今でもタブレットを使って学習することで、子どもたちが自分の興味を追求している姿を見ることができます。一人一台持つことで、子どもたちの意欲的な学習への取組がさらに広がるものと期待しています。ご家庭での取り扱い等ご協力いただくことが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

修学旅行に行ってきました。
～たくさんの学びがありました～

１１月２６日、２７日に６年生は長崎に修学旅行へ行ってきました。コロナ禍での旅行となり、実施も危ぶまれていましたが、旅行会社や宿泊先のホテル、バス会社等しっかりとした対策をしてあり、また、どの見学地でも検温や消毒等が徹底してあったため、安心して見学することができました。

小雨の中、班ごとに真剣に話を聞いています。

今回の修学旅行のテーマ「『ナガサキ』の平和を学び、メリハリをつけて協力し、思い出に残る修学旅行」のとおり、子どもたちはフィールドワークでガイドさんの話をしっかりと聞き、資料館では一生懸命メモをとり、語り部の方の平和講話では真剣な表情で話を聞き、意欲的に質問をしていました。実際に被爆された方のお話は子どもたちの心にしっかりと刻まれ、平和の大切さを学ぶことができました。また、２日間友達と協力して生活することで思い切り楽しむこともでき、充実した修学旅行となりました。

熱心にメモを取る６年生です。すばらしい！

修学旅行で学んだことは、これからの子どもたちの生活に生かされることと思います。修学旅行の実施に関してご理解いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

今回、６年生の呼びかけで、壺川小学校の子どもたち一人一人に鶴を折ってもらい千羽鶴をつくりました。低学年には鶴の折り方の動画まで作ってくれました。完成した千羽鶴は６年生が代表して語り部の方に渡すことができました。壺川小学校の子どもたちの平和への思いが伝わったことと思います。